

小5 社会(下)第3 回奈良時代～奈良の都と天平文化～要点解答 1 2021/09/12 改訂 氏名( 山上イクラ )  
漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	701	18	和同開珎 <small>わ どう かいちん</small>	35	三世一身の法 <small>さん せい いっしん</small>
2	藤原不比等 <small>ふじわらの ふ ひ と</small>	19	710	36	墾田永年私財法※ <small>こんでん えいねん しざいほう</small>
3	律 <small>りつ</small>	20	平城京 <small>へいじょう</small>	37	莊園 <small>しょうえん</small>
4	令 <small>りょう</small>	21	長安 <small>ちょうあん</small>	38	道鏡 <small>どうきょう</small>
5	2官8省 <small>かん しょう</small>	22	国府 <small>こくふ</small>	39	犬上御田鋏※ <small>いぬがみの み た すき</small>
6	国司 <small>こくし</small>	23	木簡 <small>もっかん</small>	40	阿倍仲麻呂 <small>あべの なか まろ</small>
7	郡司 <small>ぐんじ</small>	24	古事記 <small>こじき</small>	41	鑑真 <small>がんじん</small>
8	里長 <small>さとおさ</small>	25	風土記 <small>ふどき</small>	42	唐招提寺 <small>とうしょうだいじ</small>
9	租 <small>そ</small>	26	日本書紀 <small>にほんしよき</small>	43	天平文化 <small>てんびょう</small>
10	庸 <small>よう</small>	27	光明皇后 <small>こうみょうこうごう</small>	44	正倉院 <small>しょうそういん</small>
11	調 <small>ちよう</small>	28	聖武天皇 <small>しょうむ</small>	45	イラン
12	防人 <small>ききもり</small>	29	国分寺 <small>こくぶんじ</small>	46	シルクロード
13	6	30	国分尼寺 <small>こくぶん にじ</small>	47	校木 <small>あぜき</small>
14	口分田 <small>くぶんでん</small>	31	東大寺 <small>とうだいじ</small>	48	校倉造 <small>あぜくらづくり</small>
15	万葉集 <small>まんようしゅう</small>	32	743	49	ア・エ・カ・ク
16	山上憶良 <small>やまのうえのおくら</small>	33	行基 <small>ぎょうき</small>		
17	708	34	723		

記述 1 女性の数が男性よりもはるかに多い。

記述 2 女性の方が、税が軽いために男の子が生まれても女が生まれたと戸籍をいつわった。

記述 3 口分田をすてて、貴族や寺社の土地に逃げ出す者が出てくるようになった。

記述 4 どのような種類の特産物が、どこから都に納められていたかが分かる。

記述 5 仏教には国を守る力があると考えられていたため、仏教の力によって国を治めようとした。

記述 6 このころの仏教は、僧が一般の人々に教えを広めることを禁じていたこと。

記述 7 水俣病のような水銀が原因の公害病が発生したと考えられる。

記述 8 天皇の力が弱まり、今までの公地公民制がくずれていった。

記述9 仏教が朝廷に保護されて栄えたため寺院の勢力が強くなり、僧が政治に口を出すようになった。

記述10 朝鮮半島の新羅との関係が悪化したため。

記述11 このころの船はおもに風のカで進むため、この季節には南東の季節風を利用することができた。